

# CSRレポート2021





## 目次

---

<b>CHAPTER 01</b>	総括 -トップメッセージ-	<b>02</b>
<b>CHAPTER 02</b>	2021年の活動	<b>04</b>
<b>CHAPTER 03</b>	2022年の方針	<b>15</b>

## CHAPTER 01

# 総括

## - トップメッセージ -

(作成:清原CSRプロジェクト)

2021年も引き続きコロナ禍に翻弄され、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用が無かった“なんでもないふつうの日”は本当に少なかったように思います。

年末年始の行動制限緩和措置(空気)はありましたが、一年を通じて移動や会合・イベント活動も制限されて、当社が所属する、人が活発に動くことにより消費が生まれるアパレル業界や、マスク作りや巣ごもり需要が一段落した手芸業界にとって大変厳しい一年となりました。

そのような中、世の中で2つの動きがこの一年で大いに加速したように感じます。

### 1) デジタル化・DX化

経産省のレポート『2025年の崖』の中で指摘がありましたように、遅れを取った日本社会・産業界のDX化が大きな課題になっていますが、コロナ禍をきっかけに特にデジタル化レベルでは大いに進んだように思います。(他国との差が縮まったかどうかは定かではありませんが。)

インフラを整えて在宅勤務が普通となる、Zoom等によるWeb会議が主流となる、どこでも仕事が出来るように書類や取引の電子化を進める、それをきっかけに取引のプロセス自体を変える・・・などの取り組みが社内でも進みました。

デジタル化・DX化推進は、人の移動やモノの流れを変えるという意味で物理的なエコ活動と繋がっていますし、更に情報発信の手軽さや情報量の多さ、アクセスの良さが人の意識や行動に変化を与え、エコな活動、人権意識への高まりに大いに貢献しています。

## 2)SDGs・サステナブルな社会への関心の高まり

まずはSDGsの認知度は、この一年で約30ポイント増え、76.3%に達したそうです。\*朝日新聞社2021年12月度調査

実感としても、お客様のエコや人権に配慮した資材を使いたいというニーズが各方面で高まっています。

例えばアパレル業界などでは、資材供給において品質、価格、納期へのニーズが強く、“いいものを、安く、すぐに”を提供することが求められています。

ファッション性への要求を満たすことを前提に、この3つの要素をクリアすることに大変苦勞するのですが、これらのどこかに多少目をつぶってもエコな資材を使いたいというリクエストや期待が増えています。

この動きの背景には、消費者の意識の変化があるように思います。カッコいい／お洒落とは、自己表現とは、大切な人の笑顔のためには・・・地球の、誰かの犠牲の基に成り立つものを身に着ける、作る、贈ることではないという意識が生まれ、高まっています。

本来ファッションやホビーは、(サステナブルな素材や商品かどうかはさておき)個性や表現の豊かさ、多様さを大切にしてきましたので、SDGsという大きな潮流をいかに咀嚼し、取り入れるかが問われています。

供給側の企業倫理や行動がまさに問われていますが、企業としてはブランディング・マーケティング戦略上もこの部分に鈍感ではられません。

業界内でもセグメントにより温度差はありますが、確実にこの流れは加速していくものと考えます。

清原の事業は、4つの事業部から構成されます。共通して言えることは、CSR活動、SDGsへの取り組みは自社だけでは実現できないということです。

各種業界団体や関連組織と歩調を合わせ、国内外のお客様、メーカー様とパートナーシップやアライアンスを構築し、サプライチェーン全体で取り組むこと、その中で多様なニーズに向き合い、ディテイルのスペシャリストとしての役割を果たしていくことが会社の使命であると考えています。

そのような現状認識と方向性を持ちつつ、会社のミッションである『つくる楽しみ、魅せるよろこび』の提供を通じ、一味違う清原らしい商品・サービスを提供していきたいと考えています。

\*本レポートはCSRスタンダードに沿った体系的なものではありませんが、清原の多様なCSR活動の一端をご理解いただければ幸いです。

## CHAPTER 02

# 2021年の活動

### Ⅰ 環境

#### 商品・営業に関するトピックス

##### ① サステナブル実需ブックの作成

環境配慮商材を提案するツールとして、ボタン、バックル、パーツ類、テープなどを取り揃えたブックを作成しました。



##### ② JSFA(JAPAN SUSTAINABLE FASHION ALLIANCE)加盟

2021年12月に「JSFA」に賛助会員として加盟しました。「適量生産・適時購入・循環利用によるファッションロスゼロ」と「2050年カーボンニュートラル」を目標にサステナブルなファッション産業への移行を推進することを目的としています。

国内外を含めたネットワークのCSR調達とトレーサビリティを強化し、商品とサービスの両面から環境負荷低減に取り組んでいきます。

##### ③ サステナブルな裏地の開発

bluesign®の認証を受けている染料を使用して、タフタの裏地に染色を施しました。製糸から最終製品に至るまで、素材、資源消費、水質汚染、労働環境など多岐にわたり検査しています。これらによって次世代につながるものづくりの発信性を高め、業界の意識向上を進めていきます。

#### ④サステナブルな素材の採用

環境配慮素材(リサイクル、バイオマス等)やトレーサブル素材を使用した商品やパッケージ資材を採用することで、化石燃料の使用量削減、安心・安全な商品提供などを通じ、持続可能な社会づくりに貢献します。



Resin Lab(レジンラボ)/LEDレジン液  
(2021年4月発売)

■紙箱パッケージの採用(プラスチックごみ削減)



スヌーピー/SNデニム  
(2021年10月発売)

■緯糸に『ECOPEL®』  
(リサイクルポリエステル繊維/帝人フロンティア株式会社)、  
経糸に『TRUFCOTTON』  
(トレーサブルなオーガニックコットン/豊島株式会社)  
を使用したTCツイル生地採用



ナウナウボタン  
(2022年1月発売)

■バイオマス、リサイクル素材配合のボタン採用  
■バイオマス素材配合のパッケージ資材(台紙・袋)採用

#### ⑤マスク・ウイルス対策、おうち時間関連商材

新型コロナウイルスの収束が見えない中、引き続き感染症対策商品の強化を行い、感染拡大防止に少しでも貢献出来るよう尽力しました。

またコロナ禍で初めて、或いは久しぶりに手作りに触れ、楽しんでいただいたお客様に向けて創作意欲を刺激し、こころ豊かに過ごしていただけるような商品提案を行いました。



### ⑥環境保護商品開発・販売

レジ袋有料化に向けてCO<sub>2</sub>削減を目指し、環境に優しいジュート素材のバッグを販売。工場排水ゼロの植物タンニンを使用した環境に配慮した「やさしい革<sup>®</sup>」を使用した財布の開発を行い、販売を開始しました。



### ⑦ 3R(reduce / reuse / recycle)への取り組み

海外事業としては“ゴミを減らし、限られた資源を大切に”との視点でサステナブルな資材提案を行っております。

例えば、玩具や手芸品のパッケージに使用されるブリスタフィルム用の再生PET材や、成型時に排出される廃材を100%再利用したプラスチックボタン、水を使用しない無染色の原着ミシン糸の提案など、3Rを意識した資材の海外市場への発信を行っております。

## 経営・管理活動に関するトピックス

### ■SDGsアクションの取り組み

①事業主体である4つの事業部、②各事業部及び管理本部から任命されたメンバーによるCSRプロジェクト、及び③経営会議をしっかりとリンクさせることにより全社でのCSR・SDGs活動を推進しております。

「SDGsアクションレポート」は [こちら](#)

### ■SDGs AWARD 2021 受賞

業界団体・関西ファッション連合様からSDGs AWARD 2021・サステナブルアクション賞を受賞しました。同賞は、SDGsへ取り組む加盟企業(約530社)の中からSDGs活動に積極的と認められた企業5社に与えられたものです。

「SDGs AWARD 2021」は [こちら](#)

### ■「私のSDGs宣言プロジェクト」

大阪府主催の「私のSDGs宣言プロジェクト」に参画、使用しなくなった当社取り扱い商品(ボタン)を店舗の装飾、ワークショップで活用いただくなど、廃棄ロスに向けて取り組みをしています。

清原株式会社の「私のSDGs宣言」は [こちら](#)(大阪府HPより抜粋)

大阪府「私のSDGs宣言プロジェクト」は [こちら](#)

### ■「SDGsリース」の活用

三井住友ファイナンス&リース株式会社様のSDGsリース「みらい2030®」を通して、リース料の一部を「すべての子どもが夢や希望をもてる社会」を目指し活動されているNPO法人キッズドア様に寄付しています。

### ■品質管理プロジェクト活動

エコ・サステナブル商品への取り組み・チャレンジは、社内品質管理の在り方、更には商品企画・調達・販売活動とも関連してきます。安心・安全を担保した商品・サービスの提供、品質確保はCSR活動の根幹と捉え、2月に4つの事業部横断型プロジェクト活動を立ち上げ、全社で共通する品質管理ポリシー策定と各事業部の品管体系の設定(見直し)を実施しました。



## ■その他、コロナ禍2年目の各種施策進捗状況

在宅勤務の必要性から下記など種々施策実施により、従業員の約80%に在宅勤務ができる環境・インフラを整えました。

- ・社内システムにリモート環境でアクセス出来、オフィスと同様に仕事・コミュニケーションが取れるシステムインフラ作り
- ・そのための社内ルール作り、機器貸与、セキュリティ対策
- ・エバンジェリスト体制の設置、社内サポート・ヘルプデスク体制の強化・整備

その他、でんさいの普及90%、電子請求80%、支払明細の電子化70%、東京本館のリノベーション、電子決済範囲拡大のためのワークフロープロジェクト立ち上げ、などに取り組みました。

これらの活動の一つひとつは小さいですが、資源消費を減らす、人やモノの移動を減らす(エネルギー消費をへらす)という環境面でのCSR活動へつなげること、及び働き方改革を一步進めることを目指して種々インフラ・環境整備を進めてまいりました。

アフターコロナの局面でもニューノーマルな働き方を一定レベルで継続していきたいと考えています。

## II 社会

### ①服飾系専門学校への協賛

専門学校のファッションショーへの協賛を通じ、学生に多彩な資材を知ってもらい、クリエイションの喜びを感じてもらえるようお手伝いをしています。その中で、サステナブルというキーワードに焦点を当て、未来のデザイナーやパタンナーの啓蒙活動に、或いはそこから得たフレッシュな発想やニーズの具現化に取り組んでいます。

### ②サステナブル ニュースレターの配信

2021年8月～11月にわたり4回のニュースレターを社内向けに配信しました。SDGs、バイオマス、生分解、リサイクルをテーマにし、まずは社員の意識向上を進めました。サステナブルな社会への実現に向け、意識改革をおこなっていきます。



### ③神戸学院大学ゼミ内 研究会との産学連携

神戸学院大学経営学部 辻教授ゼミの「神戸リサーチ&プロモーション研究会」が、企業とコラボして商品・サービスのテストマーケティングやプロモーションなどの企画を実行する産学連携プロジェクトがあり、神戸マルイ1Fに「Sannomiya Future Market(三宮未来市場)」というスペースを設け、そこでコラボした企業の商品を学生ならではの視点で紹介しています。

この度、清原とのコラボで、Resin Lab(レジンラボ)コーナーが設けられました。

Resin Lab(レジンラボ)の体験やプレゼント企画、アンケート等を通じ、学生の学び(企画提案、結果レポート報告)と弊社商品の認知度向上と、消費者情報を得られる機会となりました。

期間:2021年8月1日(日)～8月31日(火)、10月16日(土)～10月31日(日)

場所:神戸マルイ1F手作市場内「Sannomiya Future Market」スペース

### ④情報発信コンテンツ強化

オンラインワークショップやライブ配信による新商品説明、レシピ動画、ブログ開設等、お客様のニーズに合わせて様々なチャネルでのコンテンツ展開と強化を行いました。さらにそれらを販売店様の店頭やWeb、SNS上でも利活用いただくことで、ハンドメイドへの興味をより深め楽しんでいただき、ユーザーの裾野を広げることに貢献しました。

### ⑤フェアトレード商品開発・販売

持続可能な社会を目指し、フェアトレードを通じて途上国の生活向上につながる商品開発に取り組み、インド製トートバッグの販売を開始しました。



### ⑥動物保護支援商品開発・販売

保護猫活動を行っている「一般社団法人LOVE&CO」×デザイナーnaosudouの財布、エコバッグを清原別注で商品化し販売。本体価格の3%が飼い主のいない猫の保護活動費に充てられました。



### ⑦地域活性化活動

手作りを通じて、多くの方にぬくもりと楽しさを伝えるために、青森県や岐阜県で活動されている団体様との共同企画に取り組んできました。全国の生活協同組合にチラシを配布する事で、共同企画を行った地域への取り組みへの認知活動にもつながっていきます。



布ぞうりの手作りキット  
岐阜県恵那市串原「ささゆりの里  
布ぞうり研究会」と共同開発



こぎん刺しの手芸キット  
青森県弘前市「弘前こぎん研究所」  
と共同開発

### III 人・ガバナンス

#### ①健康経営の実践

2020年3月経済産業省と日本健康会議より、健康経営優良法人(大規模法人部門)に認定、以降3年連続で認定を取得しております。(注)

ストレスが多い世の中、心身共に健康であることが重要と考え、職場の安全衛生面の改善や環境整備、従業員の健康維持増進のため「健康経営戦略」を策定、健康にまつわる各数値目標を掲げ、喫煙率、運動習慣者率などの項目からアブセンティーズム・プレゼンティーズムまで幅広く改善に向けた取り組みを行っております。

将来的にはホワイト500(健康経営度調査スコアの上位500法人)を目指してまいります。

注)健康経営優良法人制度とは、経済産業省による地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

健康経営の促進は [こちら](#) (経済産業省HP)



	目標値	実績		
	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
定期健康診断受診率	100.0%	100.0%	100.0%	94.8%
喫煙率	20.0%	22.0%	23.0%	26.2%
運動習慣者率	20.0%	18.9%	18.0%	14.0%
時間外労働時間(月平均)	7時間	8.5時間	10時間	11時間
有給休暇取得率	70.0%	65.0%	60.4%	60.1%
傷病による休職者数(年間)	0名	2名	2名	2名
アブセンティーズム (傷病による平均欠勤日数)	1日	0.35日	2日	2.6日
高ストレス者率	7.0%	10.0%	10.4%	13.7%

#### ②清原長期収入サポート制度(GLTD)

当社では、福利厚生の一環として清原長期収入サポート制度を導入しております。

従業員が万が一病気やケガで長期間仕事が出来なくなった時の一定の収入を守るもので従業員本人やその家族を守り、長く安心して働ける環境を提供します。

GLTDパンフレットは [こちら](#)

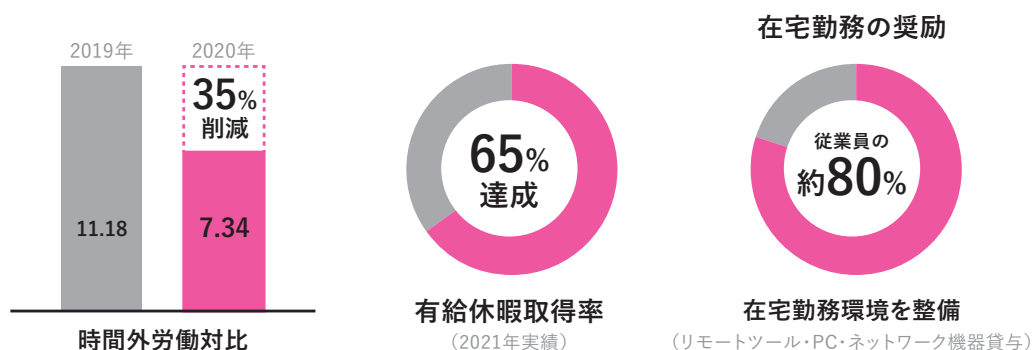
### ③働き方改革への取り組み

少子高齢化や価値観が多様化する世の中において、社員が個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を選ぶことを支援するため、諸制度の整備と運用強化を進めています。

三井住友銀行様からは働き方改革が期待できる『働き方改革グロース企業』認定を継続しています。

SMBC HPは [こちら](#)

残業が多い、有給休暇が取りづらいという業界の特性を克服すべく、業務改善活動と就業管理システム導入による運用徹底により下記改善を図りました。



上記結果に関しては更なる改善努力が必要と認識していますが、健康経営優良認定結果などからも一定の成果があったことは評価いただいております。

今後のアフターコロナのリバンド需要への対応など、業務に負荷がかかる局面が懸念されますが、数値の維持・改善に引き続き取り組んでまいります。

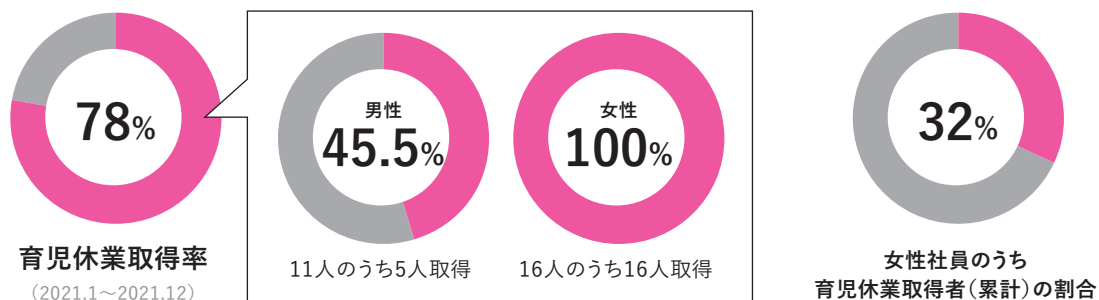
### ④ダイバーシティ経営

#### ■女性活躍推進

ファッション、ホビー(手芸、クラフト)という分野に根ざす清原は女性が活躍する会社です。

更なる女性の活躍、登用を推進し、支援していきます。

女性の大半が総合職として活躍、女性目線を活かした商品開発、他、提案営業と多方面で活躍しております。



女性社員のうち3人に1人の割合で育児休業から復帰し、現在も活躍しております。  
パパ育休取得に向けても全社で取り組んでおります。

採用パンフ 女性活躍クロストークは [こちら](#)

#### ■グローバル社員の活躍

直接・間接的に海外との取引が多い国際性を特徴とする中で、国内外で外国人が活躍してきた  
土壌・実績を活かし、多様な国籍を持つ社員が同様に活躍出来る場を設けております。

採用パンフ グローバル社員クロストークは [こちら](#)

#### ■キャリアアップ支援

非正規社員を正社員に登用する機会を積極的に設け、会社全体でキャリア形成を支援していきます。  
現在、パートから管理職として活躍、他多数が正社員として営業職、商品企画職の中核として活躍  
しています。

#### ⑤エンゲージメント向上への取組み

社員一人ひとりが健康であり、かつ仕事へのやりがいを持って自発的にチャレンジできる仕事環境  
整備の一環として、アドバンテッジタフネスサービス導入と人事制度改定の準備が整ったこと  
により、エンゲージメント向上への取組みを全社的活動へと格上げしました。

会社を、職場をより良くすべく、様々な課題や問題点にしっかり向き合い、①現場アセスメント(組織  
別現状調査) ⇒②アセス情報のフィードバック ⇒③職場での対話・改善計画 ⇒④行動・実践のサイ  
クルをしっかりと回していきます。

#### ⑥社内教育・研修活動

CSR活動をベースとして支えるべく、各種社内教育・研修に力をいれています。

■bluesign®加盟によるインフラやネットワークを活用すべく、社内プロジェクトを発足させました。  
その活動の一貫として、bluesign® systemとは何か、どのようなミッションがあり、メリットがあり、  
どのように活用できるのかといった基本を学ぶ勉強会を実施しています。

#### ■健康経営に関する研修会の実施

従業員の健康維持・増進を目的として定期的に研修会を実施、生活習慣病予防、長時間労働の  
低減、メンタルヘルスほか幅広いテーマに基づき研修を開催しております。

#### ■安全衛生委員会

産業医と連携し、各拠点参加型(Web会議)で基本月に1回実施しています。各職場の巡視をはじめ、  
従業員の健康増進に関する情報の共有、昨今ではコロナ感染対策・メンタルヘルスサポートに  
注力、健康経営体制し従業員がいつまでも安心して働けるよう企業全体で取り組んでいます。

■Web学習支援(e-Learning)サービス

生活習慣病対策、メンタルヘルスケア、労働安全、ほかコンプライアンスに関してe-Learningを通じて個人のペースで好きな場所・好きな時間に学習できる環境を整備、従業員の意識向上を図っております。

■従業員向けヘルプデスクサービス

従業員とご家族向けに健康経営支援サービス(アドバンテッジタフネス)を導入、法律・税務相談などのデイリーサポートから専門医によるカウンセリングまであらゆる悩み・相談に的確なアドバイスを受けることができる体制を設けております。

## CHAPTER 03

# 2022年の方針

2022年も引き続き①CSRプロジェクト、②各事業部、③経営会議の連携の下、CSR・SDGsへの取り組みを強化してまいります。

4つの事業活動の中では、冒頭にも述べましたように、同じ思いを共有するお客様、パートナー様との協働・コラボレーションをグローバルに推し進め、サプライチェーン全体での取り組みに力をいれてまいります。

中長期課題としましては、繊維産業の課題であるファッションロス削減（ゼロ）、全産業に課せられたCO<sub>2</sub>排出量削減（カーボンニュートラル）への対応と、それを担保する体制作りと数値目標の設定など、重たいテーマが挙げられますが、業界団体と歩調を合わせて進めてまいります。

各事業部の2022年度のCSR方針は以下のとおりです。

### アパレル事業部

2021年に引き続き、サステナブルな社会づくりに貢献するマーケットに向け、環境配慮商材の提案、適時・適量なものづくりの実現を目指し、アパレル業界全体のサステナブルな取り組みに貢献していきます。

### ホビーライフ事業部

サステナブルへの取り組みとして、商品やパッケージ資材は様々な方法を通じて環境に配慮した商品開発を進め、持続可能な社会づくりに貢献していきます。また品質管理や情報発信コンテンツの強化にも継続的に取り組む事で、安心・安全・心豊かな暮らしをサポートしていきます。



### ライフスタイル事業部

お客様の戦略パートナーとして、エコ商材、地域活性化活動やフェアトレード活動への協力など、多様なニーズに応えていきます。積極的に流通に携わり、事業活動への経済的効果(収益性)の発揮、付加価値創りに加え、社会貢献の一役を担いながら企業価値向上を目指します。

### 海外事業部

欧米諸国などの環境保護意識の高い市場に対して、エコフレンドリーなアパレル資材・手芸資材等を提供するとともに、Sedex団体等への登録を通じて労働環境の遵守などの倫理的貿易を進めてまいります。